

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 206-8566

住 所 東京都稲城市矢野口4015-1

氏 名 株式会社よみうりランド

代表取締役社長 溝口 烈 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社よみうりランド		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市多摩区菅仙谷4-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	遊園地の経営、競馬場の施設運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,442 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2022 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 5,625 (調) 5,583	(実) 6,265 (調) 6,254	(実) (調)	(実) (調)	(実) 5,458 (調) 5,417
削減率		(実) -11.4 % (調) -12.0 %	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	事業所ごとに設定				事業所ごとに設定
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
	(2021年度)	(2022年度)	(年度)	(年度)	目標とした値
排出量原単位等の値	100.00	87.41			97.00
活動量の値	3,140	3,948			-
排出量原単位等の削減率		12.6 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	<p>遊園地に関して、2022年度と2021年度を比較すると、こまめな電源の入り切りや大型遊戯機の輪番運転を引き続き実施したが、新型コロナウイルス等の影響減により営業日数が14日増加したことにより、CO2実排出量は3,122(t-CO2)から3,328(t-CO2)に増加した。</p> <p>プールに関して、2022年度と2021年度を比較すると、新型コロナウイルス等の影響により営業日数が1日増加したが、こまめな電源の入り切りや起流ポンプのピークカット等を実施したことにより、CO2実排出量は1,290(t-CO2)から1,281(t-CO2)に減少した。</p> <p>川崎競馬場に関して、2022年度と2021年度を比較すると、開催日数が1日減少したが、夜間営業日や観客競馬の日数も増えたため、CO2実排出量は1,141(t-CO2)から1,570(t-CO2)に増加した。</p> <p>全体を2022年度と2021年度で比較すると、CO2実排出総量が5,625(t-CO2)から6,265(t-CO2)に増加し、原単位については新型コロナウイルス等の影響により、営業日数や入場者が増加したため原単位が12.59%減少した。</p>
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①遊園地事務所及びゴルフ練習場事務所の蛍光灯が切れた場所から随時電球替え不要のLED照明に更新する。 ②会議室や倉庫等を中心に使用していない時間の空調や照明の消灯を徹底する。 ③遊戯機ヒューストンの2台同時運転回避。 ④川崎競馬場場内照明の随時LED化を実施する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>①遊園地事務所及びゴルフ練習場事務所の蛍光灯が切れた場所から随時電球替え不要のLED照明に更新する。 ②会議室や倉庫等を中心に使用していない時間の空調や照明の消灯を徹底する。 ③遊戯機ヒューストンの2台同時運転回避。 ④川崎競馬場場内照明の随時LED化を実施する。</p>
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他(グリーン電力)	○	遊園地イルミネーションにてグリーン電力を購入、使用を行った
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化及び分別化の推進を図る。 ペットボトルのキャップやプルタブの回収を積極的に行う。 2. グリーン購入の推進を行う。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化及び分別化の推進を図る。 ペットボトルのキャップやプルタブの回収を積極的に行う。 2. グリーン購入の推進を行う。
第2年度	
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	5,625 t-CO ₂	6,265 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	3,147 KL	3,442 KL	KL	KL
事業所の数	6	6		

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
遊園地	川崎市多摩区菅仙谷4-1-1	3,122	3,328		

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
プール	川崎市多摩区菅仙谷4-1-1	1,290	1,281		
川崎競馬場	川崎市川崎区富士見1-5-1	1,141	1,570		